

令和 2 年度女性部会報告



株式会社 ビュー設計

馬場 弥生 (BABA YAYOI)

(応用理学部門、建設部門)

1. はじめに

徳島県技術士会女性部会（以下、「女性部会」と略記）は、平成 25 年に女性部会のメンバー6 名で発足し、令和 2 年 11 月現在は、8 名で活動している。活動としては、技術系の職場などで働く女子社員や技術者をめざす女子学生を対象として気軽に意見交換ができる場の提供と、女性技術者間のネットワークづくりへの寄与を目的とした「阿波なでしこ技術サロン」を、企画会議とともに平成 27 年度から毎年開催してきた。

また、昨年度、(公社)日本技術士会四国本部において男女共同参画推進小委員会が設立されたことにより、「阿波なでしこ技術サロン」は、「四国なでしこ技術サロン」(以下、「技術サロン」と略記)として、拡大開催されることとなった。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より技術サロンが中止となったため、本稿では、本年度の女性部会会議と、四国本部の男女共同参画推進小委員会において開催された勉強会への協力について報告する。

2. 会議の実施状況

当会議の概要、および会議にて確認・協議した内容を以下に示す。

なお、今回、新型コロナウイルス感染予防対策として、参加者全員がマスクを装着し、手指消毒液により手指の消毒を行った。また、会場は加湿機能を有した空気清浄機が設置されており、空気清浄機およびエアコン稼働とともに出入口のドアを開けて開催した。

(1) 概要

- ・ 開催日時：2020 年 7 月 26 日（日）10:00～12:00
- ・ 開催場所：シビックセンター活動室 1（空気清浄機付き）
- ・ 出席者：7 名

(2) 議事内容

- ・ 今年度の活動計画について（確認）
- ・ 四国本部勉強会について
- ・ 徳島県技術士会会報での報告について
- ・ その他：近況報告・連絡事項等

3. 議事まとめ

今年度の活動計画、四国本部メンバーとの勉強会等についてまとめた会議の結果を以下に報告する。

- ・ 今年度の活動計画については、昨年度の活動方針、活動計画を元に意見交換し、昨年度同様の活動とすることとなった。
- ・ 今年度より「阿波なでしこ技術サロン」は、四国本部との連携で、「四国なでしこ技術サロン」として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とし、四国本部メンバーとの顔合わせを兼ねた勉強会とすることで全員の承認を得た（活動計画参照）。
- ・ 勉強会プログラム（案）については、原案を元に進めることで全員の承認を得た。
- ・ 四国本部の男女共同参画推進小委員会との連携にあたり、日本技術士会の男女共同参画推進委員会の経緯等を紹介するメモをあらたに追加することとなった。
- ・ 勉強会の参加については、可能な限り出席することで全員の承認を得た。
- ・ 徳島県技術士会会報での報告（女性部会活動報告の執筆）について、今年度は、馬場が執筆することとなった。
- ・ その他（近況報告等）：それぞれの近況報告を行った。



写真1：女性部会会議の様子・持参の手指除菌グッズ

4. 会議を終えて

コロナ禍にあって、十分な対策を講じた上で女性部会の令和2年度会議が開けたこと、とても嬉しく思った。しかし、今年度より徳島県だけで実施していた「阿波なでしこ技術サロン」が四国本部と連携し開催される予定だった「四国なでしこ技術サロン」が、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止となったのは非常に残念であった。来年度以降、四国四県の女性技術者や技術者をめざす女子学生とお会いし、楽しく有意義な繋がりができると期待している。女性部会の「できる者が、できる事を、できる時に！」をスローガンに、これからもおおらかで思いやりのある本会の女性技術者同士で意見交換等を、徳島県女性メンバーの増加を願いながら、息長く続けていきたいと考えている。

5. 四国本部男女共同参画推進小委員会の勉強会への協力

女性部会会議により検討されたプログラムを元に、10月18日に徳島市で開催した四国本部男女共同参画推進小委員会の勉強会に参加協力を行った。

こちらも女性部会会議と同様に、参加者全員がマスクを装着し、手指消毒を行って実施した。参加者14名で活発な意見交換が行われ、次回からの「四国なでしこ技術サロン」の開催に期待の持てる勉強会となった。

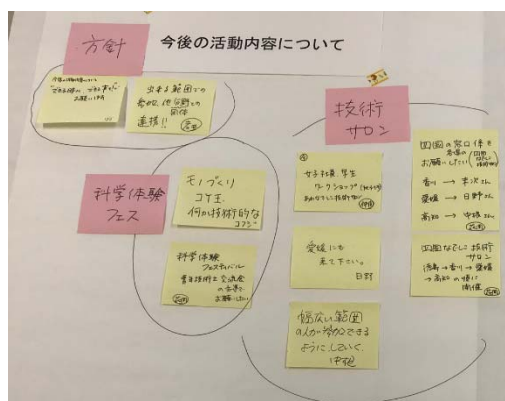
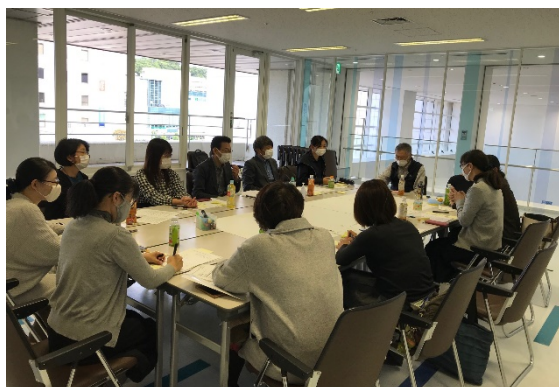


写真2：勉強会の様子と意見交換の模造紙

謝辞：新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつも、会議および勉強会開催にあたって、ご理解いただきました理事および会員の皆さま



に感謝・御礼申し上げます。